

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。

はいさい

沖縄協同病院・病院広報委員会

豊見城市字真玉橋 593 番地の 1

TEL.(098)850-7951

http://oki-kyo.jp

E-mail:okikyo02@crocus.ocn.ne.jp

発行責任者 西銘圭蔵

心療科

生きづらさを感じたら心療科へ

皆さんは、臨床心理士とはどんな職業であるかご存知でしょうか？現在、毎週金曜日夜10時から放映されている「Around 40」というドラマに登場する準主役(?)の藤木直人さんが演じているのが臨床心理士です。あれはドラマですので、通常ではありえないことが繰り広げられていますが、医師と臨床心理士の役割の違いがうまく表現されていると思います。



天海祐希さん演じる精神科医が臨床心理士に「○○さんへのカウンセリングをお願いします」という場面がよく見えます。登場しますが、「カウンセリング」というのは、このドラマのように、医師の指示の下で行うものなのです。では、どのような人がカウンセリングの対象なのかというと、例えば「公共の場での人間関係がうまくいかない」とか「体調がすぐれないのだけど、検査をしても異常がない」と言われた「等々」、生活に何らかの支障をきたしている方やその他「自分が嫌いな原因は分からないが生きていてつらい」「自分の感情がわからない」という方たちその対象です。

今起きている困った症状は、掘り下げてみると、実は過去の体験によるものであったり、自分自身の考え方や行動の癖であったりするものです。臨床心理士は、患者様が問題に向き合えるように働きかけ、患者様が自分自身の力で解決できる力を育てていきます。このように「カウンセリング」というのは、心理士が一方的に行うものではなく、「患者様の中にある力を引き出すこと」ですので、患者様と心理士との共同作業と言えます。もし、「カウンセリング」を受けたいと思われたら、まず心療科にご相談ください。そして、受診の際「カウンセリング希望」ということを医師にお伝えください。

社会の仕組みが変わり、ストレスの多い現代、仕事や家庭等で生きづらさを感じたら、まずは心療科の門を叩いてみてください。



新中協同病院開設準備会 新垣 司

新病院建設の進捗状況②⑧

(新病院建設工程について)

新病院工事は順調に進んでいます。6月26日(水)には新病院エンタランスホールを除いて、コンクリート基礎工事・土工事、5月24日に終了しました。5月26日からは1階床スラブなど上部躯体工事に入っています。梅雨の時期で天候が心配ですが、大雨でない限りは工事を進めると言っています。

職員の取組み状況は、新病院の内装・配色についての説明検討会や、急性期病院として大きな役割を担う救急部門の具体化のための会議・機器購入に関する会議等の多岐にわたる検討準備が進められています。

二〇〇八年度 総代会を終えて 新病院への期待ますます高まる



昨年の総代会以降、沖縄医療生協の事業活動と運動は確かな力と成長を遂げていること、地域住民・県民の中での存在意識などを確認することができました。そして何よりも新病院への期待が伝わる総代会でした。(総代会の詳細については「医療生協だより」をご覧ください)

2008年度は来年5月の新病院開設を前に大切な年になります。出資金(自己資金)6億円の目標はどうしてもやり遂げなくてはなりません。センター病院の沖縄協同病院は、その中心となり、大黒柱としての役割を担います。強みである救急分野の医療活動をさらに強化し、急性期病院の入院機能をしっかりと行うことが必要です。地域連携がこれまで以上に必要になります。

事務長 比嘉努

特定健診 ニュース④

特定保健指導編

こどもの食べ残しを、もったいないので 食べたらメタボになっちゃった?

メタボまたはメタボ予備軍に特定すると、その改善のために保健指導をおこない、6ヶ月間のフォローをします。

まず、肥満の原因を一緒に考え、その改善策を決定します。

では、職員健診で指摘され、実際に保健指導を始めた事例を紹介します。事例1 53歳、男性。身長161.1cm、体重80.1kg BMI 30.9 ①空腹時血糖179 HbA1c 9.1 ②中性脂肪180 HDL 44 ③血圧123/75 ④喫煙あり 結婚当時の体重70kg 体重が増えてきた原因についての本人の自覚は運動をしなくなった。以前は那覇マラソンにも出場して何度も完走していた。毎晩ビールを二缶呑むのが原因か?しかし、夕食の量はそんなに多くはない??

奥さん、子供さんは痩せ型とのこ

とでいよいよ不思議に思い、よく話を聞いたら、子供さんは好き嫌いが多く食べ残しが多い。もったいないのでそれを食べていることが判りました。

改善策は当面本人のできることで、「食べ残しを食べない、通勤片道歩行40分を往復続ける」でした。3ヶ月後のデータは体重78kg、①空腹時血糖 152、HbA1c 7.8 ②中性脂肪 134、HDL 46でした。明らかに改善をみえています。本人は「ガソリン高の今、車にほとんど乗らず、1石3鳥・4鳥ですよ」と笑いながら頑張っています。今後は食事をもう少し減らすことを確認しました。

医師 原国 政裕

事例 53才 男性 身長161cm

	ステップ1		ステップ2(リスク)					
	内臓脂肪型肥満の有無		①血糖		②脂質		③血圧	④喫煙歴
項目	体重(kg)	BMI	空腹時血糖 (mg/dℓ)	HbA1c (%)	中性脂肪 (mg/dℓ)	HDLコレステ ロール(mg/dℓ)	血圧 (mmHg)	喫煙
指導前	80.1	30.9	179	9.1	180	44	123/75	あり
3ヵ月後	78	30.1	152	7.8	134	46	106/60	あり
メタボ 判定値		25以上	100以上	5.2以上	150以上	40以下	130以上	あり
	腹囲	85cm以上					85以上	

・内臓脂肪型肥満の有無は特定健診では腹囲を測ります。

・内臓脂肪型肥満の人は、ステップ2のリスク①～④のうち、2つ以上あると6ヵ月間の保健指導が始まります。

院長の頭の中 その23

～医療メディエーター～

- 全国で、救急医療、小児・産科医療の崩壊が起こっている。以前は、医療従事者や医療機関の責任を問う論調が、マスコミを中心に多かった。しかし、ようやく、医療福祉にかけられる予算の貧弱さ、欧米に比して医師が極端に少ない（欧米は国民300人に一人が医師、日本は500人に一人）ことが理解されるようになった。過労死で医師が死ぬのは日本だけである。
 - さて、沖縄協同病院には「虹の箱」という投書箱があり、病院に対するクレームや相談が多く寄せられる。患者会・組合員・職員で構成する病院利用委員会で、その内容を検討している。中には、職員の対応に関するものが少なくない。
 - 当事者間にどんなやりとりがあったかを、のちに明らかにするのは難しいことではあるが、同じ職員に対して、複数の患者から指摘がある場合は対応の仕方に何らかの問題があると考えざるを得ない。
- こういう問題を、一面からでなく、当事者相互の主張や、その内面にある思いをくみ取ったうえで相互理解をはかり、解決に導くべく、医療メディエーターという職種を配置した。
- よりよい医療を実現するために、改めるべきは改め、利用者にも職員にも安心できる病院を目指したい。

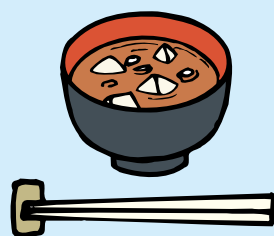
院長 西銘 圭蔵



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

ご意見・ご要望

食事の件ですが、朝のみ、味噌汁が出るそうですが、昼、晩も出してもらいたいです。少しでもお願いします。



ご返事

ご意見ありがとうございます。
病状によっては、食事の塩分や水分を調整するために、味噌汁 1日1杯の患者様もいますが、要望があれば、個々に対応しています。
毎食汁物の方も結構いますし、また、毎食パンを食べたい等のご要望にもお答えできます。

食事のことで何かございましたら、主治医の先生、看護師又は病棟担当の栄養士までお気軽にご相談ください。

直接お話を聞けなくて残念です。

栄養管理室 新垣慶子



はじめまして、リハビリテーション科 13人入職

リハビリテーションとは、心身に障害をもつ方々が、元の生活へ回復するように援助しますが、その中で、理学療法（PT）・作業療法（OT）・言語聴覚療法（ST）の専門職があります。

理学療法は、主に、運動療法（筋力、関節可動域、バランス能力、痛みの改善など）により基本動作（起きる・座る・立つ・歩くなど）の回復を図ります。また、歩行を補助する補装具・歩行器・各種杖の調整も行います。

作業療法は、主に、日常生活の諸動作、仕事、遊びなど生活全般に関わる活動の回復を図ります。また、個人の生活や状況に合わせた福祉用具（ベッド・車椅子）や自助具（太柄スプーン・太柄ブラシ）の説明・指導も行います。

言語聴覚療法は、主に、コミュニケーションの問題（言いたい言葉が出てこない・声が出にくい・発音の問題など）や食事の問題（飲み込みがうまく出来ない・むせるなど）の回復を図ります。

3種のリハ専門職は、互いに協力・連携し、他職種（主治医・看護師・医療相談員など）との連携を図りながら目標に向かい、アプローチしています。

スタッフ一同、患者様に信頼される質の高いリハビリテーション供給を目指します。これからもリハビリテーション科をよろしく願います。

リハビリテーション室
具志 毅也

リハビリテーションとは、心身に障害をもつ方々が、元の生活へ回復するように援助しますが、その中で、理学療法（PT）・作業療法（OT）・言語聴覚療法（ST）の専門職があります。

理学療法は、主に、運動療法（筋力、関節可動域、バランス能力、痛みの改善など）により基本動作（起きる・座る・立つ・歩くなど）の回復を図ります。また、歩行を補助する補装具・歩行器・各種杖の調整も行います。

作業療法は、主に、日常生活の諸動作、仕事、遊びなど生活全般に関わる活動の回復を図ります。また、個人の生活や状況に合わせた福祉用具（ベッド・車椅子）や自助具（太柄スプーン・太柄ブラシ）の説明・指導も行います。

言語聴覚療法は、主に、コミュニケーションの問題（言いたい言葉が出てこない・声が出にくい・発音の問題など）や食事の問題（飲み込みがうまく出来ない・むせるなど）の回復を図ります。



のぞみの会（リウマチ患者会）

総会のご案内

内容：2007年度のまとめと2008年度の方針
日時：6月11日（水）午後1時～4時
場所：豊見城中央公民会 2階 第2研修室
会費：700円 申し込みは外科外来
TEL (098) 850-7951 (内線 224)

ダイエットワーク&気功

★ダイエットワークを取り入れた（6月の日程）ストレッチとワークです。

4日・11日・25日（水）

場所：リハビリ室 時間：18:30～20:00

※途中参加、退出できますので、お気軽にご参加ください。 問い合わせ：総務課 金城（内線310）

地域の文化遺産⑤

「ハリリー」といえる「系満ハリリー」が有名であるが、その発祥地は豊見城だと言われている。600

年前、豊見城城主であった汪応祖（おうおうそ）が漫湖で舟遊びをしたのが最初のようだ。汪応祖は南京へ留学した時、肥前舟競漕を見て感動し、帰国後、久米三十六姓（福建省から渡来した技術者集団）に肥前舟を造らせ、舟遊びを楽しんだという。

その後、廃藩置県の混乱でその行事も途絶えたようだが、発祥地である豊見城市を県内にアピールするため、2003年、ハリリー由来まつり実行委員会が発足。120年ぶりに「豊見城又ブイ」を復活させ、2006年には石碑「ハリリー発祥の地」、歌碑「豊見城



総務課 金城 稲子